

「比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム」 ～「日本農業遺産」に認定されました～

比企丘陵地域（滑川町、東松山市、熊谷市、嵐山町、小川町、吉見町、寄居町）では、古来、特徴的な谷津地形を活かした「ため池かんがい」による農業が継承されています。「ため池かんがい」による農業は決して珍しいものではありませんが、今なお「天水のみを水源とする」この地域は全国でも稀有な存在です。この度、比企丘陵農業遺産推進協議会が申請していた「比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム」が日本農業遺産として認定されました。



典型的な谷津地形
(国営武蔵丘陵森林公園上空)

日本農業遺産とは、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化、ランドスケープ、農業生物多様性などが相互に関連して一体となった、重要な伝統的農林水産業を営む地域を農林水産大臣が認定する仕組み。現在、全国で本地域を含め24地域が認定されている。

埼玉県さといも協議会共進会で加藤楠候氏(吉見町)が知事賞受賞

令和5年1月27日、吉見町で野菜を栽培している加藤楠候さんが、第8回埼玉県さといも協議会共進会の丸系八つ頭の部で知事賞を受賞されました。

「丸系八つ頭」とは、県農業技術研究センターで選抜された「八つ頭(さといもの仲間)」の系統で、大きな丸い形と、さといもと比べてホクホクした食感が特徴です。埼玉県オリジナルの特産物として、県内各地で栽培・販売されています。

加藤さんは平成27年から丸系八つ頭の栽培を始め、研究を重ねてきました。今回の受賞を励みとして、今後も健康な限り栽培を続けていきたいと意欲を語られています。



表彰式での様子

東松山農林振興センターの主な業務

管理部

- ・生産振興対策
- ・農産物の安全安心対策
- ・農地中間管理事業の推進
- ・農地の転用許可事務等

TEL：0493-23-8532 (地域支援担当)
0493-23-8517 (農地担当)

農業支援部

- ・新規就農の支援
- ・農業法人化の支援
- ・農業の6次産業化の推進
- ・農産物の栽培技術支援等

TEL：0493-23-8582

農村整備部

- ・土地改良区運営指導
- ・多面的機能支援事業
- ・ため池の防災減災対策
- ・県営農業農村整備事業等

TEL：0493-23-8583

元気アップ農林業

～東松山農林振興センターだより～



埼玉県マスコット
「コバトン&さいたまっち」

令和5年3月1日発行 第57号

発行 埼玉県東松山農林振興センター
〒355-0024 東松山市六軒町 5-1
TEL 0493(23)8532 FAX 0493(22)1599
ホームページ
<https://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0903/index.html>



彩の国 埼玉県 東松山農林 検索

スマート農業が担い手を支える

今までの農業にロボット、AI、IoTなどの先進技術が活用され、より簡単に農作業を省力化、効率化する取り組みが展開されています。

嵐山町では、地域の農業を担う農業法人が担い手不足、高齢化の対策として、ドローンによる水稻の鉄コーティング直播栽培に取り組みました。

その結果、種子のコーティング、播種時の水管理や雑草防除は移植栽培と比べて増加しましたが、育苗や重い苗箱の運搬作業がなくなりました。農作業の軽減を実感したこの農業法人は、「今後は、ドローンを活用した水稻栽培面積を増やしていきたい。」と意欲を見せていました。

また、滑川町では、露地野菜経営に新規就農した生産者が、山沿いの耕地で不慣れな機械操作を補うため、直進アシスト機能付きトラクタ、GNSS車速連動肥料散布機(*)を導入しました。

今までのトラクタ操作では、まっすぐにトラクタを進める運転作業と併せ、マルチ張りなどの



ドローンによる鉄コーティング種子の播種(左)と
収穫時の水田の様子(右) (嵐山町)



直進アシスト付きトラクタによるマルチ張り作業(左)と
作業後の圃場の様子(右) (滑川町)



作業を注意して行っていました。直進アシスト機能付きトラクタを導入したことで、直進操作はアシスト機能に任せられるため、快適でかつ仕上がりが上手にできるようになりました。

当センターでは、地域農業の振興、発展に向けて、農作業の軽減や生産物の収量増・品質向上に役立つスマート農業の活用を支援していきます。

* 測位衛星の位置情報を使って、速度、施肥量を調整し、肥料を均一に散布する機械。

注意!!

当農林振興センター管内で、農業機械の盗難が多く発生しています。
農業機械の盗難に十分ご注意ください！ 納屋には鍵をかける!